

## 福岡県学生ハンドボール選手権大会 感染対策ガイドライン

大会参加に関して、チーム責任者の管理下において、一般的感染症対策をとることに加えて、以下の感染予防対策を遵守することとする。

### 1. 大会前の健康チェックについて

- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の活用を推奨する
- ・体調不良者は大会にさんかすることはできない。
- ・大会前に体調不良があっても、次の **A・B の両方の条件を満たしている** 場合、大会への参加を認めることがある。事前に体調不良者があった場合には大会本部へ確認をとること。

A 感染疑い症状の発症後、**8日以上**経過している。（発症日を0日として）

B 薬剤の服用がない状態で、解熱・症状消失して **3日以上**経過している。

（解熱・症状消失日を0日として）

### 2. 大会会場への移動について

- ・一般的な感染予防策を講じた上で、公共交通機関やチーム専用車両を利用する。
- ・自家用車による移動では、1台に複数人での利用をできるだけ行わない。  
（2人以上で乗る場合には、マスクの徹底、座席間隔、開窓に配慮する）

### 3. 大会当日の注意事項

- ・入館時に各施設入り口に備え付けているサーモグラフィーにより検温を行う。  
また、消毒液にて手指消毒を行う。  
各チームの責任者は責任を持って参加者の体温を確認すること。  
発熱者は入館することができない。  
（37.5℃以上の発熱の場合、別の体温計にて検温を行う）

4. 体育館内では、試合をしない他チームとの接触をできるだけ避けるために、行動を制限する。さらに、一般的な予防対策を徹底する。

ア) トイレは常時利用可能

イ) シャワー利用禁止

ウ) 3F 観覧席に更衣室スペースを用意する。

エ) アリーナ・観覧席以外のスペースの利用禁止（Wup、MTG 禁止）

- オ) 各会場の観覧席で、荷物管理、部員待機・食事は可能。
- カ) ゴミは各チーム持ち帰ることとする。
- キ) 運営スタッフによる定期的な施設内の見回りを実施する。

## 5. 参加者（運営関係者・チーム関係者・審判）の感染対策（大会後）

・大会終了後2週間は、自主的に体調チェックを行い、この期間に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、相談センター、かかりつけ医などに連絡後、必ず大会本部に報告すること。

### 競技上の感染予防対策に伴う注意点

- ① 試合前のトス、ユニフォームチェック  
前試合の終了後、消毒やフロア清掃が終了した後で、コートオフィシャル席で行う
- ② ウォーミングアップ（ボールを使用したもの）  
前試合の終了後、消毒やフロア清掃が終了した後で、ボールを使用したウォーミングアップをハーフコートで行ってください。
- ③ コート内でのみマスクを外すことができる。ベンチでは役員、選手ともできる限りマスクを着用する。但し、指示を出すヘッドコーチ1名はマスクを外してよい。
- ④ 試合前後の挨拶は、選手同士、声を出さずに一礼のみとする。  
試合後の相手ベンチ、審判、オフィシャル席への挨拶は割愛する。
- ⑤ 試合前後のハイタッチや握手は行わない。
- ⑥ タオル、ドリンクボトル、アイシングバッグなどの共有は禁止する。
- ⑦ ハーフタイム  
選手は、速やかに自分たちが使用したベンチを消毒する（セルフ消毒）  
次試合のウォーミングアップは実施されないため、後半の自陣ベンチにて待機可能
- ⑧ 試合終了後

選手は、速やかに自分たちが使用したベンチを消毒する（セルフ消毒）